

川場村と地域創成

人のつながり・地域のつながり 縁組協定



群馬県川場村は森林に囲まれ棚田が広がり、りんご、ぶどう、ブルーベリー等、「農業+観光」で年間180万人が訪れます。

川場村は、1971年当時、過疎地域に指定される利根川源流の山あいの農村でした。

1981年に川場村（農村）と世田谷区（都市）との「縁組協定」が締結され、親戚のような交流が始まります。

世田谷区の子どもたちは川場村の森林や川で自然体験を満喫し、川場村は子どもたちの心のふるさとになりました。

農を中核とした都市・農村交流連携事業により、川場村は地域創成の成功事例となっています。

地域創成科学科では、川場村の農家、地域の皆さんと一緒に、農村地域が抱える定住人口の減少、鳥獣被害の問題、

観光農園の管理運営、レクリエーション機能を高めた美しい森林整備や花による散策路整備等、エコビレッジ 理想郷

を目標にした村づくりを実習として参加し、里山再生のモデルとして地域創成の教育研究を実践しています。

